

小学校 低 学年＜1・2―（4）－1＞

学 年	1年 2年	時 間	生活科 「ひなんリュックになに入れて？」	時 期	10月11月 o r 適時	時 数	1時間（45分） （第1時／全3時間）
本時目標	非常持ち出し品について知り、災害時の避難するときに必要なものを考えることができる。						
資料・準備	ワークシート、ヒントカード、感想用紙、非常持ち出し袋、災害時避難に関わる資料						

展開＜第1時＞

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	<p>1 「非常持ち出し袋」「非常持ち出し品」の言葉と意味を知る。</p> <p>◇「非常持ち出し袋」や「非常持ち出し品」という言葉を聞いたことがありますか。</p> <p>・避難するときに持って行くリュックとその中身</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><運動会の団体競技で扱った場合></p> <p>1 運動会の防災種目を振り返り、「非常持ち出し品」の言葉と意味を知る。</p> </div>	<p>○実物を見せ、災害(地震など)のとき持って避難する品物と、それらを入れる袋であること、日頃から準備しておくことと安心であると説明する。</p> <p>○災害の様子や避難所の様子の絵や写真で災害時の様子をつかませる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>○運動会の競技で使った5品目をワークシートに書かせる。非常持ち出し袋から中身を出して答えを確認する。袋の中から「？」を書いた中身を提示して、考える意欲を高める。</p> </div>
展 開	<p>2 避難をする際に欠かせないものを班で話し合い、ワークシートに書く。</p> <p>◇避難するとき、何を持って行ったらいいでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>ひなんするときに、なにをもっていったらいいだろう。</p> </div> <p>◇班のみんなで話し合っ、ワークシートに書き出しましょう。</p> <p>3 班ごとに発表する。</p> <p>◇班の代表の人は、班で考えた物を一つずつ発表してください。できるだけ前の班が発表した物と違う物を発表してください。</p>	<p>○初めの5分間は班ごとに話し合いをして考えさせる。</p> <p>○思いつかない場合は、教師のヒントコーナーに来よう声をかける。その際、班の代表一人が行き、口を開かないことを確認する。教師は「頭を守るもの」「手を守るもの」「灯りの代わりになるもの」「赤ちゃんが使うもの」「病気の時に必要なもの」というカードを提示する。</p> <p>☆避難時に必要なものを考えることができたか。</p> <p style="text-align: right;">【気づき】</p> <p>○児童が考えた持ち出し品以外にも避難生活に必要な物品について、教師が実物を見せながら補足説明をする。</p> <p>☆各班の発表をしっかりと考えながら聞くことができたか。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p>
ま と め	<p>4 本時の振り返りをし、感想を書く。</p> <p>◇今日の学習の感想を書きましょう。</p> <p>◇各班で一人ずつ発表してください。</p>	<p>○災害はいつ起こるか分からないことから、非常持ち出し品の備えが大切であることをおさえる。</p> <p>○次時は自分たちが考えた非常持ち出し品が必要な理由を考えることを予告し、各自理由を考えてくることを宿題（プリント配布）とする。</p>

<単元のねらい>

話し合い活動を通して、避難時に必要なものは何かを考え、備えようとする。

<指導計画>（全3時間）

第1時 非常持ち出し品について知り、避難時に必要なものを考える。

第2時 避難時に必要なものの理由を考え、グループごとに話し合ったり、発表したりする。

第3時 避難生活に必要なものを考える。

関連する 教科・領域等	(学級活動) 運動会前の学習 (学校行事) 運動会の個人競技種目に実施してもおもしろい
協力団体	鳥取大学
題材・指導案等	平成23年度鳥取型防災教育モデル校（鳥取市立明德小学校）の実践を参考に作成